文久癸亥 西川通船路新開圖

天ほうそ
あまたみをつくしけて
右りのきよ
舟ぎおひきた
樞園

此なび帝都四方の運送便利を
ひらきく万民を救助せんや深く
厚き思食みまを
大内よ敷千両の黄金拝下賜て
西川の高瀬速に成功あらしめ
倒なる御真の花の都へ運
國々より米穀炭薪は更なり種々の
産物四世の賑ひを積みくへ
めぐみ深きを仰ぐべき
再きて廣く人ふ
知らしむる事ならぬ

発行 京都川通茶下ル 越後屋治兵衛
書房 全角通丸町中 平野屋茂兵衛

画図 四方春翠